

会 議 録

会議名称	第7回 豊岡市新文化会館整備基本構想・基本計画策定委員会
日 時	2019年10月16日（水） 13：30～15：50
会 場	豊岡市役所 庁議室（3階）
出席者	〔委 員〕 藤野委員長、田村副委員長、杉山委員、平岡委員、赤澤委員、樋口委員、與田委員、大西委員 〔事務局〕 桑井地域コミュニティ振興部参事、櫻田新文化会館整備推進室長、米田文化振興課長、田中係長、真島 (株)シアターワークショップ 伊東、佐藤、東
欠席者	〔委 員〕 碓井委員、木村委員、宮下委員、平田委員
議 題 等	1 開会（あいさつ） 2 前回委員会のまとめ 3 協議事項 （1）市民ワークショップ等の結果について （2）シンポジウムの開催結果について （3）新文化会館整備基本計画策定スケジュール（案）について （4）新文化会館整備基本計画（素案）について （5）その他 4 その他 5 閉会
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・豊岡市新文化会館整備基本構想・基本計画策定委員会次第 ・豊岡市新文化会館整備基本構想・基本計画策定委員会（第7回）資料 ・豊岡市新文化会館整備基本計画（素案） ・豊岡市新文化会館整備基本計画（素案）への意見用紙 ・新文化会館整備基本計画策定スケジュール（案） ・シンポジウム掲載記事〔神戸新聞（2019年9月24日朝刊）〕 ・高校生ワークショップかわら版
次回会議	2019年12月18日（水）

〈審議結果は次のとおり〉

1 開 会（あいさつ）〔藤野委員長〕

今日は秋晴れだが、先日の台風では全国に大きな被害が出た。お見舞い申し上げます。豊岡についても、水害等の心配があるが、本施設についても公共施設として、災害対策をしっかりとして設計等の検討が必要である。

愛知トリエンナーレの一件、非常に心を痛めている。個人的には、人々の寛容性が失われていると感じた。知的好奇心が大切だと思っていて、単に好き嫌いで判断するのではなく、特に若い人を刺激するような、想像力が膨らむようなことが大切だと感じている。そのためには、地域の器が必要。多様なものを受け入れる寛容性がローカルにも大切であるし、本施設においても同じことが言える。

2 前回委員会のまとめ

第6回策定委員会において、委員から出された意見等の確認

【質疑応答・意見交換】

発言者	意 見 等
委 員	・9月に開催した第0回豊岡演劇祭を報告したい。城崎国際アートセンターと出石永楽館で3、4日間行い、その際、TOYOTAと一緒に自動運転のシミュレーションを行った。チケットをリストバンド型にして、コンピューターで管理して、それを付けている人が今どこにいるのかを把握できるようにした。そうすると、どこにどれくらいの人数がいて、移動させる必要があるのかということもコンピューターでシミュレーションできるようになった。それを元に城崎駅から城崎国際アートセンターまでの配車計画、いつどこにどれくらい車を回すかなどを実験的にシミュレーションした結果、かなりの可能性を感じた。だから、マイカーだけでなく、遠くから来た人たちがホールに行くまでの足として車の共有は意外と早く、5年以内くらいに実現できると感じた。
委員長	・日本ではまだあまり進んでいないが、ドイツではカーシェアリングなどを行っている。
委 員	・海外ではウーバータクシーなどが主流。今までのタクシーとはシステムが違うこともあって、呼んだらすぐに来る。

3 協議事項

(1) 市民ワークショップ等の結果について

ア 第3回市民ワークショップの結果について報告

【質疑応答・意見交換】

発言者	意 見 等
委 員	・豊岡はコンテンポラリーが多い。バレエもミュージカルもコンテンポラリーのものが増えてしまって、昔ながらの普通の演劇が見たいという方もいると思う。具体例で出していいのか分からないが、この前、「不思議の国のアリス」をみんな楽しみにしていたが、実際はコンテンポラリーのもので難しく感じられてしまったこと。演劇もおもしろそうだと思って観に行っても、コンテンポラリーのものが多くて分からないことが増えてしまっている。だから、たまには普通のものが観たい。あまりに斬新、先進的なものが多い。事業内容を見ても、普通のものがカットされてしまっていたので、市民はたまには普通のものも見たいということを伝えたい。 ・規則について、全部借りないと借りられないという実状がある。例えば、市民プラザの場合、ホールを使う際、よその人が入ってくると嫌

事務局 (TWS)	<p>となると、リハーサル室から控室まで全て借りないと発表会ができない。一方で市民会館の場合、抽選の段階で、全館借りられる人が優先となる。小さな団体は、舞台と客席だけ借りたいのに舞台と全館を借りられる団体が最優先になってしまう。そうすると、小さい団体は、大きい団体と同じ日を希望する場合は、くじ引きにすら参加できない現状がある。だから、せっかく新しい市民会館を作るために規則についても市民が意見を言えるのであれば、小さい団体も大きな団体と同じようにくじ引きができるようにしてもらいたい、全館借りられなくても舞台を借りて、発表会が出来るようにしていただきたいと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップの意見の傾向として定番のもの、当たり前と思われていることは意見として出ない。抜け落ちてしまいそうなところに対して意見が出る傾向があるので、ここを出しているのも実際の意見ではあるが、普通のことはやる前提で参加者のみなさんは考えていると思う。
事務局 (市) 委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、管理運営についてご意見をいただく際に、より使いやすいよう改善すべきところは検討していきたいと思う。 ・この問題は僕も議論したいと思っていてもので、「普通」って一体何なのかということに対する疑問がたくさん出てきている。 ・数日前に菅尾友さんがフェニーチェ堺で子どものための魔笛をやっていた。本編を1時間くらいにまとめたもので、素晴らしい出来だった。でも、色々な感想があって、これは日本では作れない、ノイズが入り過ぎ、教育委員会的には無理という意見もあったが、やはり大人が作った額縁を通してしか作品を見ていないと、他の角度から入ってきた作品を受け付けないということがおきてしまうのかも。でも実は、子供たちにとっては、日常の地続きで古典と言われているものも別の入り口から分かることもあるので、何とも言えない。だから、「普通」、「オーソドックス」とは何かを考えるとところから始めても良いのかもしれない。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・バレエの世界も今、わけの分からないものほど高尚というイメージが先行してしまっていて、たまには綺麗なものも見たいと思ったということ。とはいえ、世界の流れも分かっている。

イ 高校生ワークショップの結果について報告

【質疑応答・意見交換】

発言者	意見等
委員 事務局 (TWS) 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生の考えた配置の地下利用について。楽屋関連諸室と倉庫を地下に作るというのは、川沿いのあのエリアで可能なのか。 ・不可能ではないが、多くのコストがかかる。ランニングコストもかかるためあまり現実的ではない。 ・庭を設けているのが面白い。建物だけで完結するのではなく、中に外部空間を取り込みながら、一つの空間として繋がりを持って捉えていることや重ね使いが良い。中高生の勉強スペースが飲食スペースも兼ねるとするのは、豊橋や知立のロビースペースとも似ている。特に地方は高校生たちがいてもいい場所が街に少ないという現状がある。そこで試みているのは、劇場をオープンにして、そこに今まで関わってこなかった人もどんどん取り込んでいこうとしている。

(2) シンポジウムの開催結果について

○ シンポジウムの結果について報告

(3) 新文化会館整備基本計画策定スケジュール（案）について

○ 今後の新文化会館整備基本計画の策定スケジュールについて、資料に沿って説明

(4) 新文化会館整備基本計画（素案）について

○ 新文化会館整備基本計画（素案）のうち、『はじめに』・『第1章』について、資料に沿って説明

【質疑応答・意見交換】

発言者	意見等
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・舞台寸法で、間口があっても、高さに余裕がない劇場が多い。その点も盛り込んでいただきたい。十分なフライエリアがあり、可動のプロセニウムなどの機構があると間口をコントロールできる。音楽の公演になると縦横比が大切。 ・茶室の利用を制限することは検討すべき。茶室で行う演劇などの可能性がある。楽屋としても利用できる。 ・創造活動部門について、「ワークショップ」という文言を入れられないか。現状ワークショップとして使わせてくれる場所がない。これからの公共ホールの役割としては、ただ作品を見てもらうことだけでなく、一緒に作品をつくる市民を育てていくことも大切。ワークショップという言葉を受け入れてほしい。
事務局 (TWS)	<ul style="list-style-type: none"> ・プロセニウムアーチ高は30尺 (9m) 必要と思われるか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・20～24尺 (6～7.2m) くらいだとすごく日本型、西洋はもっと高い。小さな世界都市を標榜するならそういったものも受け入れられるようにしていただきたい。
事務局 (TWS)	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽専用ホールであれば、本来、客席の天井と舞台の天井は同じ高さになる。演劇等でも使用できるようにするのであれば、舞台上のすのこは高くなるし、プロセニウムは、30尺 (9m) くらいまで、可動する幕やパネルなどを下げる。するとその分、すのこの高さは高くなる。敷地条件からも今のところ高さの確保はできそう。音楽使用の空間でプロセニウムも入る、という形で断面も検討する必要がある。 ・ワークショップも十分できる空間になる予定。
副委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ピアノは現市民会館には3台ある。新文化会館は何台設置予定か。連弾ではなく2台ピアノといった、子どもたちが他の施設でできないような演奏ができる施設になるとよい。 ・和室の設えは、ただの和室なのか茶道をするようなものなのかによって使い方が変わるのでは。 ・駐車場について、反発や驚かれるような反応があるため、事例を出すなど伝え方は重要である。
事務局 (市)	<ul style="list-style-type: none"> ・ピアノ台数については、これからの議論
事務局 (TWS)	<ul style="list-style-type: none"> ・本当の茶室はもっと小さい。座椅子を使うなら、大広間でもよいのではないのか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・茶室としての設えは別にして、災害対策の面から、畳の部屋は必要である。

委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駐車場がどのくらい確保できるか知りたい。 ・ 客席数にこだわっている。800席は仕方がないとしても、600席になるのはいかがだろうか。現市民会館の1118席が半分近くになってしまう。 ・ 豊岡は雪が降るため駐車場は必要、実例もあまり意味がないのではないかな。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 楽屋関係の洗濯室は必要なのか疑問である。 ・ 多目的ホールの椅子はどんな仕様になるのか。 ・ 創造活動部門の部屋はいろいろな用途に使うということなので無理かもしれないが、リノリウムが常時敷いてある部屋もほしい。土足厳禁なので、災害時も使いやすい。リノリウムはコンクリート直貼りではなく、ひざを痛めないように床を上げて敷いてほしい。
事務局 (TWS)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 創造活動部門の部屋は一般的には、フローリングの床である。しかし、リノリウム仕上げの床とした部屋をつくることは可能。逆に土足で使いたいときは、リノリウムの上に敷く必要がある。 ・ 多目的ホールの椅子は折りたたみ椅子ではなく、スタッキングチェアを想定している。
事務局 (市)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駐車場はこれからの基本設計の中で決めていく、現時点では明確な数は出せないが現在使用している台数はそのまま確保する。現状の市民会館の駐車場も使う。 ・ 客席数は現在の財政状況、人口減少等を考慮して市民会館と同じ大きさのものを作るのは厳しい。今までの開催の仕方を工夫して開催できるようにはしたい。今後、600～800席の中で検討していきたい。
委員 事務局 (TWS)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多目的ホール客席数はいっぱいに並べて300席か。 ・ ある程度のステージ+客席数300席と考えている。

○ 新文化会館整備基本計画（素案）のうち、『第2章』について、資料に沿って説明【質疑応答・意見交換】

発言者	意見等
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 配置例での駐車場は100台程度ということだが、最終的に3階建てなどの立体駐車場にするなどの可能性はあるのか。
事務局 (TWS)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 検討してみないと分からないが、搬入トラックの動線を確保しなければならない。立体駐車場としても斜路が必要で、実際は300台も確保できず効率が悪くなる可能性がある。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 過日、市民会館で開催された慰霊祭では、駐車スペースがバスで埋まってしまい、自家用車を置くスペースがなくなった。駐車場を確保できないと、雪の日つらい。冬季のイベントが減る。
事務局 (市)	<ul style="list-style-type: none"> ・ コストなどを含めて、可能性を検討していきたい。

○ 新文化会館整備基本計画（素案）のうち、『第3章』について、資料に沿って説明【質疑応答・意見交換】

発言者	意見等
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 管理運営主体について、都市部は指定管理者が多いが、地方は名乗りを上げるところが少ない。直営もしくは専門職大学と連携しながらとなるのではないかなと思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自主事業について、採算となると難しいかもしれないが、一流のもの

委員長 副委員長	<p>を見せるためにも、度外視とまではいかないが、市民への投資だと思っ て続けていただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利益が得られない事業でも投資として考えてもらいたい。 ・現市民会館でアーティストの公演を行うとき、本当に有名なアーティ ストでないと満席にならない。1度目が満席であっても、2度目のチケ ット販売は厳しかったりする。人材育成・普及は大切だと考える。今 の時代にあったSNSなどの発信の方法を検討や、観光として希少価値 のある公演を望む。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理になると、収益にプラスのものだけをやっていくような、商 売寄りにならないか。現状として、チケットが売れ残って、価格が安 くなってから買う人もいる。自主事業が難しくなるかもしれない。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・そうなる寂しい。文化政策の観点で運営してほしい。文化庁の助成 金もあるので知恵を絞る必要がある。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・キラリふじみの舞踊監督白神ももこさんは幼児も含めた子どもと親が 参加できるダンスの作品がつかれないかを模索しながら事業を展開 している。このことが、将来の鑑賞者を育てることにつながる。また 劇場にあまり来たことがなかった人への新たな切り口になりうる。 ・専門職大学には運営のプロがやってくるし、学生をプロデューサーと して育てることを前提にしている。連携によって、新たな事業も創出 できる。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・例えば丸亀市は新たなホール建設を計画しているが、地域を活性化さ せる手段としての文化芸術でどうにかしたいという思いがある。地域 を活性化する手段として劇場は可能性があるし、そうならないか なければならない。 ・地域ホール運営の新しいモデルをつくるという意識でポジティブに考 える、いい意味で文化創造の基地となる。一方で、芸術文化を産業化 するといった視点も必要かもしれない。

- 新文化会館整備基本計画（素案）のうち、『第4章』・『第5章』について、資料に
沿って説明

4 その他

- 事務局から
 今回の委員会を2019年12月18日(水)午後1時30分、市役所2階の大会議室で開催
- 委員から自由意見

発言者	意見等
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップや市民協働で巻き込むなどがあるが、市民プラザや城 崎国際アートセンターでもその手の事業は行っている。バラバラに行 ってもしょうがない。市全体として、どのようにしていくのか考えた ほうが良い。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい施設ができて楽しみな反面、使用料金が高くなる想定している ため、私のような小さなバレエ教室やピアノ教室など、小さな団体は 使えないと思う。例えばオーケストラや吹奏楽がバレエとジョイン トすることで子供たちも使うことができる。豊岡だからこそ、豊岡に いるからこそできるような事業を行ってほしい。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・アートコーディネーターが必要。豊岡の新しいアイデンティティがで きる。自主事業フレームに小さな団体も組み込んでいけたらよい。

5 閉 会（あいさつ）〔田村副委員長〕